

CORPORATE PROFILE

会社案内



ADEKA
Add Goodness

Add Goodness

すべてのものは、今より良くできる。
くらしに、さらなる豊かさや便利さ、
安心をもたらすために。
素材に、さらなる機能性や耐久性、
環境性能をプラスする。
私たちは、素材の価値を高める。
そして、素材を「素財」に変える。
私たちは、アデカです。

Add Goodness

それは、「良きものを足す」という意。
素材メーカーである私たちADEKAの姿勢を、
コーポレートスローガンにあらわしました。

私たちは、素材の「材」を財産の「財」と捉えています。
原料から製品をつくり、お客様へお届けし、社会のお役に立つまで。
そのすべての過程において、
ADEKAグループの一人ひとりが、「良きものを足す」。
汎用製品でも、最先端製品でも、この姿勢は変わりません。

価値ある**素財**の提供で、世界中の人々の豊かなくらしを実現し、
持続可能な社会に貢献したい。

それが、私たちの願いです。



-6kg

クルマを軽く。
地球の負担も軽く。



高性能核剤「アデカスタブ NA」シリーズ

クルマに使われるプラスチックに
わずか0.1%添加するだけで、車重を約6kg軽く*

プラスチックの長寿命化・高機能化に欠かせない樹脂添加剤。

「アデカスタブ NA-27」は、自動車の部材として使われるポリプロピレンにわずか0.1%添加するだけで、機能を保持したまま車重を約6kg軽くできます。EV化に伴うクルマの軽量化を担い、環境負荷低減に貢献しています。

*普通自動車(バンパーや内装等)1台当たり約90kgのポリプロピレンが使われており、当効果はその換算値。



No.1

高度ICT社会の実現に欠かせない
半導体材料の世界シェア。



高誘電材料「アデカオールセラ」シリーズ

世界のスマートフォンなどに搭載される
先端半導体メモリの50%以上に採用*

薄く、軽く、省エネで高性能に進化するスマートフォン。その性能の鍵を握るのが、DRAMと呼ばれる半導体メモリです。

「アデカオールセラ」シリーズは、DRAMの微細化に無くてはならない高誘電材料。数々の先端材料の提供を通じて、高度ICT社会の実現に貢献します。



*2022年9月現在。

10万t

VOCを水に置きかえ、
安心なくらしに。



水系樹脂「アデカボンタイター」シリーズ

水を主成分とする塗料で、シックハウス症候群の原因であるVOCを50%低減*

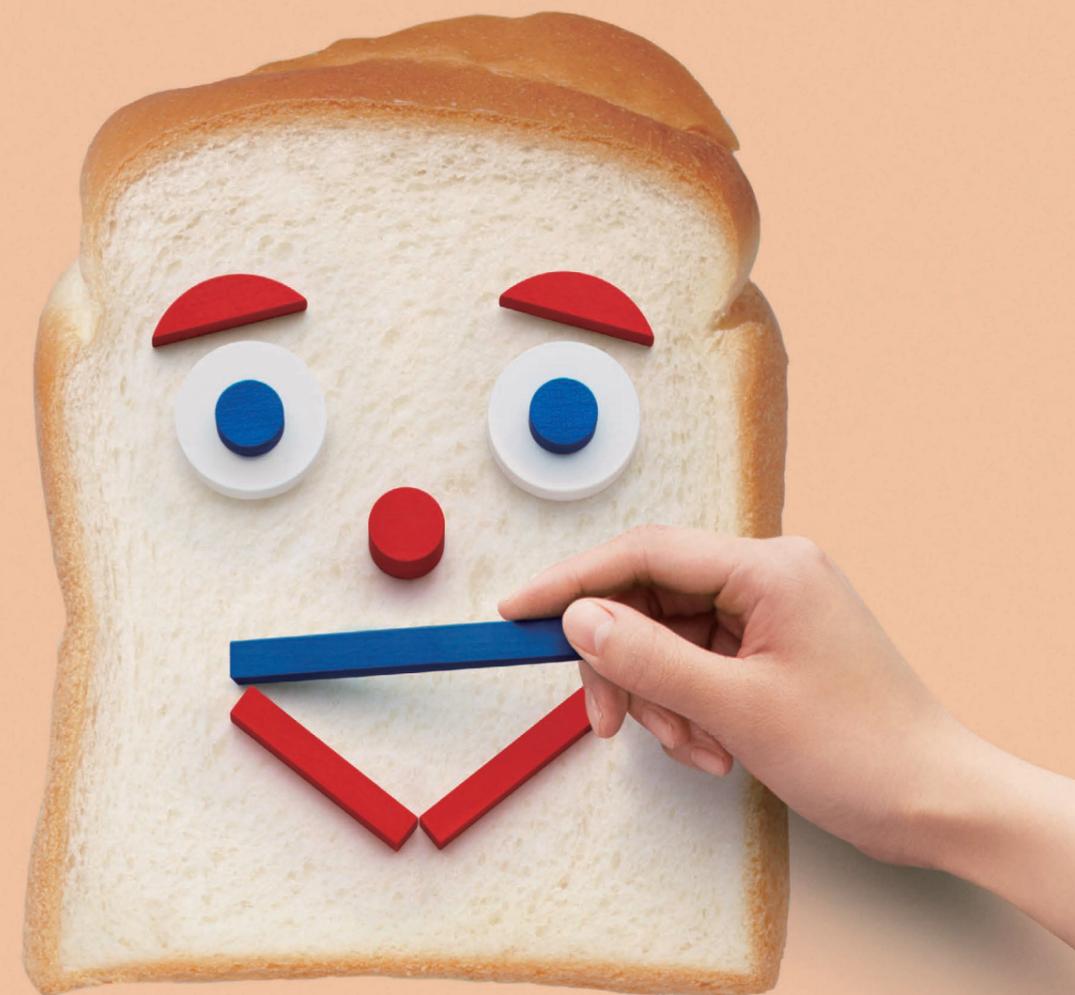


塗装などの鼻をつく臭いのもと、揮発性有機溶媒（VOC）と呼ばれ、シックハウス症候群の原因に。「アデカボンタイター」シリーズは水を主成分としたウレタン樹脂で、塗料や接着剤中のVOCを約50%低減できます。年間10万t以上*のVOCを無害な水に置きかえることで、安心・安全なくらしに貢献しています。

*当社水系樹脂（ウレタン系、エポキシ系）、塗料用添加剤他での試算合計値。

1.5倍

おいしさ延長で
食品ロスを削減。



業務用マーガリン「マーベラス」

焼き立てパン特有のおいしさを保持し、消費期限を従来より約1.5倍延長*



長年の“おいしさ”追求で生み出された独自技術で、焼き立てパンの風味・食感が長続きする業務用練込マーガリン「マーベラス」。パン生地に練り込まれやすく、生産効率向上にもつながります。“おいしさ”と環境配慮、そして食品業界の課題解決にも。私たちの技術で貢献していきます。

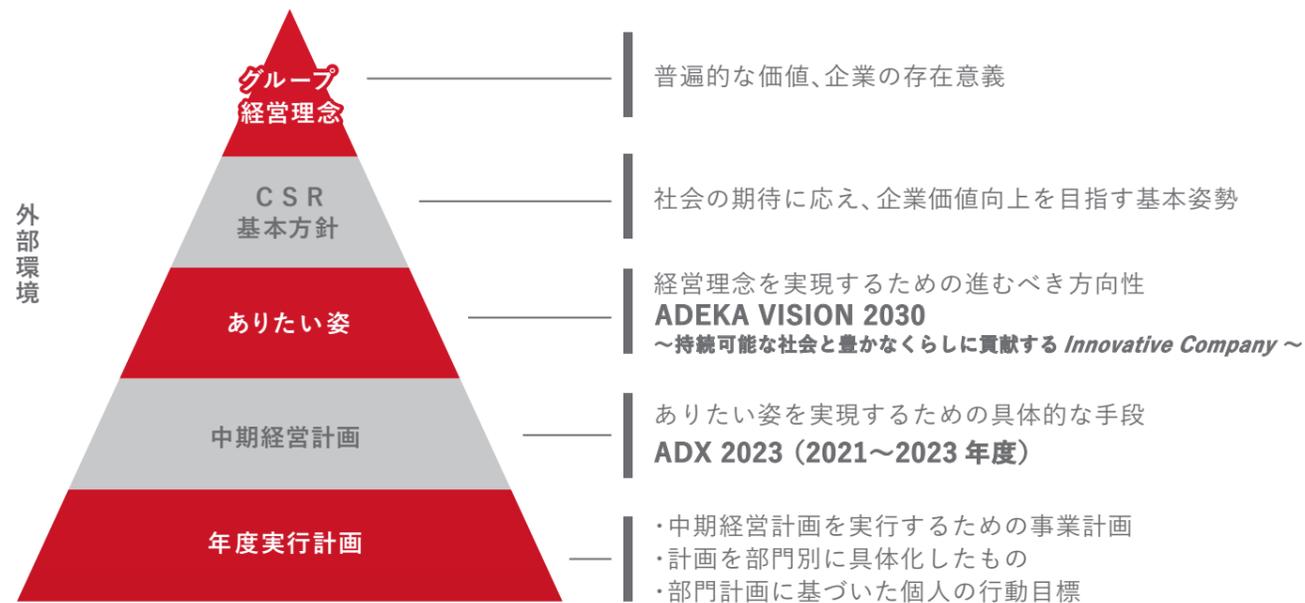
※当社調べ。



経営理念

新しい潮流の変化に鋭敏であり続ける
アグレッシブな先進企業を目指す
世界とともに生きる

ADEKAグループ経営体系



お客様・社会に貢献できる企業活動

TOP MESSAGE

持続可能な社会に向けて。
社会価値と経済価値
双方を追求し、
企業価値向上を目指します。

私たちの素財づくりの根底には
「人々の暮らしを豊かにする」使命感があります。

創立以来、CSRという言葉が生まれる前から脈々と
受け継がれてきた社会に貢献するという熱い想いを、
今改めて経営の根幹たる基本姿勢として据えたいと
思います。

今日では気候変動問題をはじめ、私たちを取り巻く
環境は急激に変化しています。私たちも変化を迅速
に捉え、自ら“変革”し続けていかねばなりません。
その挑戦が一日でも早く実を結ばば、
人々の暮らしを、地球環境を、一日でも早く良くできる。
この想いを胸に、創立から100年以上にわたり培って
きた技術を、次の時代へと持続的に発展させ、良き方向
へと進化させていきます。

一人ひとりの持てる力を合わせて、一歩ずつ前へ。
持続可能な社会と豊かな暮らしを目指して、
皆様とともに歩んでまいります。



株式会社 ADEKA 代表取締役社長

城 能 秀 尊



サステナブルで豊かなくらしのために、
価値ある「素材」のイノベーションを。

すべては、豊かなくらしを次の世代へつなげていくために。
化学品・食品・ライフサイエンス事業を通じて、サステナブルな
社会の実現とADEKAの持続的成長を目指しています。

イノベーションで紡ぎだす Add Goodnessな素材

化学品事業

樹脂添加剤、情報・電子化学品、機能化学品 など

IoT、モビリティからトレタリーに至るまで、幅広い
分野へ機能性や耐久性、環境性能など価値ある
素材を提供しています。トップシェア製品を生み出す
研究開発力、お客様の課題に迅速にお応えする
グローバル販売網とテクニカルサービスが強みです。



食品事業

加工油脂、加工食品、機能性食品素材 など

おいしさや食の安心・安全はもとより、社会的課題
の解決に資する素材を提供しています。業界に先
駆けたトランス脂肪酸低減の実現や、食品ロス削減
に貢献するマーガリンの創出など、世界に誇る油脂
加工技術が強みです。



ライフサイエンス事業

農薬、医薬品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料 など

安全で安定的な食料の確保と、健やかで豊かなくらし
を実現するため、農業はじめ医薬、動物薬
など、社会のニーズに応える素材をグローバルレベル
で提供しています。全く新しい化合物を開発し、新薬
の創出につなげる研究開発力が強みです。



ADEKAグループ CSR基本方針

ADEKAグループは、
公正・透明な企業活動を通じて、
「技術」と「信頼」で
ステークホルダーの期待に応え、
持続可能な社会に貢献します。

グループCSR優先課題



社会価値

経済価値

豊かなくらしを
次の世代へ



企業活動を通じて、
社会的課題の解決に
取り組んでいきます。

脱炭素社会
カーボン
ニュートラル

省資源・
資源循環

ICT社会の
実現

モビリティの
進化

再生可能エネルギー
の普及促進

QOL
の向上

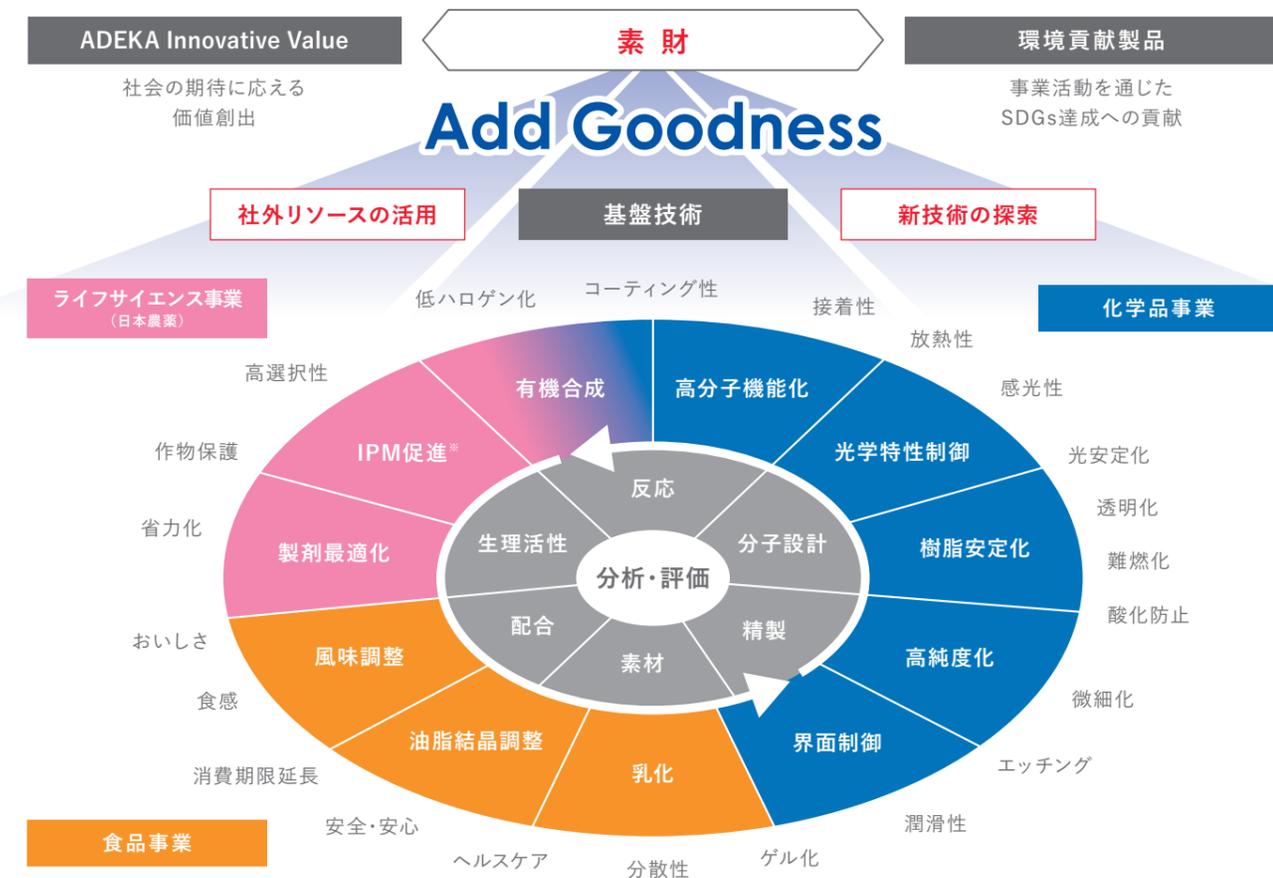
食料の
安定供給

食品ロス削減



ADEKAグループの基盤技術

多様な素材のイノベーションを生み出す土台となるのが、100年以上の歴史のなかで築き上げてきた基盤技術。社外リソースを積極的に取り入れながらこれらを融合させ、社会が求める新たな価値を創造します。



※IPMに適合する病害虫雑草制御資材の創出。
なお、IPMとは総合的病害虫・雑草管理(Integrated Pest Management)を指します。

未来のために解決すべき課題を、テクノロジーの融合で切り拓く。

独自の基盤技術を活かし、サステナブルで豊かなくらしに資するイノベティブな素材と次世代へつなぐ最適なソリューションをいち早く提供します。

世界に広がる研究開発拠点

ADEKAグループでは、世界14の国・地域に研究開発拠点を有しており、現地のニーズに合った製品をいち早く創出しています。また、分析装置やクリーンルーム、大型評価設備など最新鋭の設備で研究開発力を磨いています。



社会に貢献する製品の創出

世界中の人々に快適・便利で豊かなくらしを提供するADEKA Innovative Value(AIV)製品や、地球環境の保護に貢献する環境貢献製品を数多く創出していくことで、持続可能な社会の実現を目指します。



ADEKA Innovative Value (AIV)

外部からの表彰、売上高、利益性等を目的に、名実ともに社会から価値を認められた製品を独自にAIVとして認定しています。

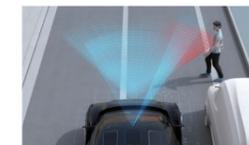


環境貢献製品

資源の採取から廃棄に至るまで製品のライフサイクルすべてにおいて環境負荷低減に貢献する製品を環境貢献製品としています。



イントラジェット系難燃剤
「アデカスタブ FP」シリーズ



超速硬化レーザー接着剤
「アデカレミロップ」シリーズ



潤滑油添加剤
「アデカサクラループ」シリーズ

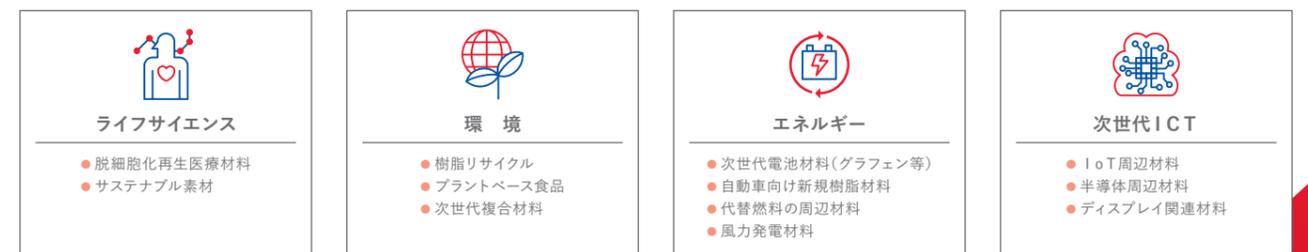


電池材料
SPAN

事業領域の拡大を目指すイノベーション

社会的課題の解決に向けた新しい素材をいち早くお届けするために、「ライフサイエンス」「環境」「エネルギー」「次世代ICT」の4つの分野でオープンイノベーションによる研究開発を推進するとともに、脱炭素社会の実現に向けた探索研究を行っています。

オープンイノベーションによる4分野の新製品開発と事業化の推進



脱炭素社会の実現に向けた探索研究





すべては、もっと、
くらしを豊かにするために。
社会に求められる価値を絶え間なく提供します。

ADEKAは、くらしをより良くする素材を扱う企業として、
B to Bの域を越え、社会(消費財・消費者)を意識した
バリューチェーン・マネジメントにより、持続的成長を目指しています。

研究開発
P12

持続可能な
原料調達

安心・安全な製品の
安定生産

エコで安全、安定的な
製品輸送

社会に求められる
製品の提供

社会へ

持続可能な原料調達の推進

「ADEKA購買基本方針」のもと、調達先の公正・公平な取引はもとより、環境への配慮、人権の尊重および適正な労働環境を徹底しています。

一部化学品と食品の主原料であるパーム油の持続可能な調達を目的に、非営利組織RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟するなど、各種イニシアチブに参画しています。



2-0790-17-100-00

「4つの安全」に基づく生産活動

当社グループ生産拠点では、世界共通の独自概念「4つの安全」(労働安全・環境安全・品質安全・設備安全)に基づき、災害防止はもとより、分析技術の進化、設備の自動化・効率化、環境・人に配慮した設備の更新などの改善活動を行っています。

また、品質や安全衛生をはじめとする国際マネジメント規格に則った企業活動により、グローバルレベルで製品の安定供給に努めています。



「4つの安全」シンボルマーク(左)と
グローバルレベルで年2回開催する改善事例発表会(右)



火災や化学物質漏洩などを想定した自主的な訓練を実施



「ホワイト物流」推進運動への参画

輸送の生産性向上・物流の効率化、働きやすい労働環境の整備などを目的とした「ホワイト物流」推進に向けて、自主行動宣言を公表しました。

物流に関わる環境負荷低減への取り組み

物流に関わる環境負荷低減とコスト競争力強化の両立を目指し、モーダルシフト(船舶や鉄道への切り替え)や他社との共同配送を推進しています。また、一定期間経過した食品製品について、製品出荷の帰り便を活用して回収し、石けんや肥料などへリサイクルしています。

お客様の商品価値を高めるトータルソリューション提案

ADEKAグループでは、お客様との対話を通じて、市場における潜在的なニーズを発掘し、開発・生産・販売が一体となって課題解決につながる新製品の開発を推進しています。

また、営業担当者だけでなくテクニカルサービス員がお客様のニーズや課題を伺い、当社以外の製品を含めた配合や処方などのソリューションをご提案することにより、お客様の商品価値向上に努めています。

高い技術力に加えて国内外の開発拠点との連携により、グローバルレベルで迅速に対応できることが強みです。



実際にプラスチックを成形し
お客様へ提案

ネットワーク



世界中の人々の輪とともに広がる、
ADEKAのグローバルネットワーク。

「世界とともに生きる」企業として、現地ニーズにお応えするために。
ローカライゼーションとロイヤリティ向上を重視し、
“オールADEKA”で価値を提供します。

ADEKA

本社・支社・支店・営業所

- 本社(東京都)
- 大阪支社(大阪府)
- 名古屋支店(愛知県)
- 福岡支店(福岡県)
- 札幌営業所(北海道)
- 仙台営業所(宮城県)

工場

- 鹿島工場(茨城県)
- 鹿島工場西製造所(茨城県)
- 千葉工場(千葉県)
- 三重工場(三重県)
- 富士工場(静岡県)
- 明石工場(兵庫県)
- 相馬工場(福島県)

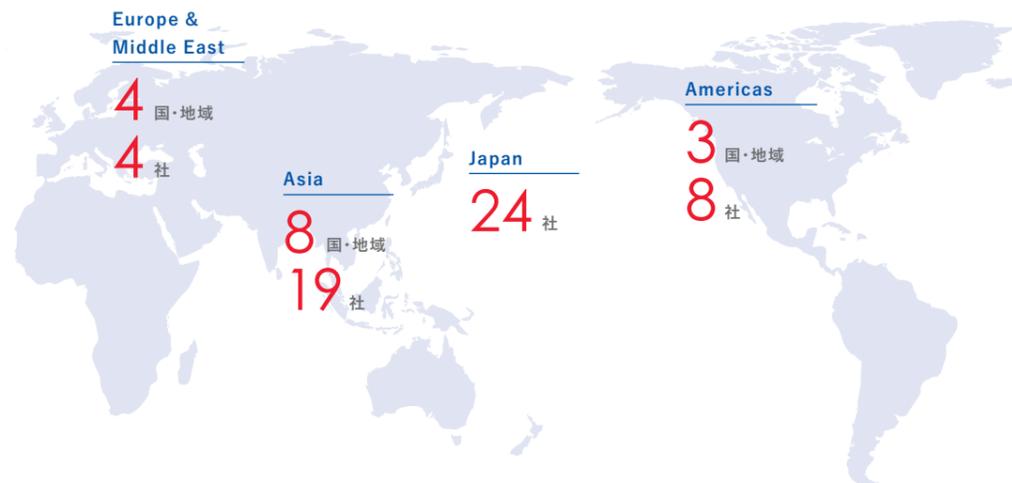
研究所

- 尾久中央開発研究所(東京都)
- 浦和開発研究所(埼玉県)
- 久喜開発研究所(埼玉県)
- 関西食品開発室(大阪府)

グローバルネットワーク

ADEKAグループ会社

16 国・地域
55 社



ADEKAグループ連結子会社

Americas

- ADEKA USA CORP.(米国)
- AMFINE CHEMICAL CORP.(米国)
- AM STABILIZERS CORP.(米国)
- NICHINO AMERICA, INC.(米国)
- SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.(ブラジル)

Asia

- 艾迪科(中国)投資有限公司(中国)
- 艾迪科精細化工(上海)有限公司(中国)
- 艾迪科精細化工(常熟)有限公司(中国)
- 艾迪科食品(常熟)有限公司(中国)
- 艾迪科精細化工(浙江)有限公司(中国)
- 長江化学股份有限公司(台湾)
- 台湾艾迪科精密化学股份有限公司(台湾)
- 日佳農葯股份有限公司(台湾)
- NICHINO INDIA PVT. LTD.(インド)
- ADEKA KOREA CORP.(韓国)
- ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.(タイ)
- ADEKA (ASIA) PTE. LTD.(シンガポール)
- ADEKA (SINGAPORE) PTE. LTD.(シンガポール)
- ADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.(マレーシア)

Europe & Middle East

- ADEKA EUROPE GMBH(ドイツ)
- ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS(フランス)
- NICHINO EUROPE CO., LTD.(イギリス)
- ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC(UAE)

Japan

- ADEKAケミカルサプライ株式会社(東京都)
- ADEKAクリーンエイド株式会社(東京都)
- オキシラン化学株式会社(東京都)
- ADEKA食品販売株式会社(東京都)
- 株式会社ヨンゴ(愛知県)
- ADEKAファインフーズ株式会社(鳥取県)
- 上原食品工業株式会社(東京都)
- 株式会社クラウン(大阪府)
- 日本農薬株式会社(東京都)
- 株式会社ニチノ緑化(東京都)
- 株式会社ニチノサービス(東京都)
- 日本エコテック株式会社(東京都)
- 株式会社アグリマート(東京都)
- ADEKA物流株式会社(東京都)
- ADEKA総合設備株式会社(東京都)
- ADEKAライフクリエイティブ株式会社(東京都)

ADEKAグループの詳細はこちら

https://www.adeka.co.jp/company/group_j.html

https://www.adeka.co.jp/company/group_f.html



国内



海外

それは、時代とともに変化する
社会を支える素材です。

くらしを豊かにするものづくり。
ものづくりを支える素材づくり。
時代とともに変化する課題を先取るように、
解決のための下地をつくるのが私たちの使命です。

FOR THE FUTURE

HISTORY



1917

旭電化工業株式会社
として創立

1917年

「奇性ソーダ」の販売を開始



奇性ソーダの
国内生産に成功

1920年～

奇性ソーダの副生物を利用し
石けんなど無機製品の製造を開始

1929年

マーガリンの製造を開始



国民の栄養不足を
補う高品質な油脂

1950

急激な経済成長を遂げた日本の
“くらし”の基盤を支える

1954年

樹脂添加剤事業を開始



塩ビ用可塑剤
「アデカサイザー」

1959年

プロピレンオキシド、プロピレングリコールの
国産化に成功

1950年～

家庭用製品の販売強化



「アデカ石鹸」
看板と
合成洗剤
「テル」

1970

環境にやさしい製品開発と
海外への進出加速

1972年

潤滑油添加剤の開発



燃費向上に貢献する
エンジンオイル向け
潤滑油添加剤

1981年～

高純度塩素を皮切りに半導体材料へ進出

1988年～

欧米、アジアなどに生産・販売体制を次々と構築



シンガポールに
生産・販売会社を設立

1990

省エネや高度化を支える
真のファインケミカル企業へ

1990年～

環境負荷低減に資する製品創出



VOCを低減する水系材料(左)や鉛など有害物質不使用の
樹脂添加剤(右)を開発

1990年～

ディスプレイ材料、次世代半導体材料の開発加速



半導体の微細化を
リードするALD材料

2006年

株式会社 ADEKA に社名変更

2010

ライフサイエンスをはじめとする
事業領域の拡大

2011年～

コーポレート研究を担う
環境・エネルギー材料研究所、
ライフサイエンス材料研究所を設立



導電助剤 グラフェン(左)と脱細胞化再生医療材料(右)

2018年

日本農業を連結子会社化



2020

経営とCSRの統合で
豊かなくらしと持続可能な社会の実現へ

2020年

環境貢献製品の創出加速



環境対応型樹脂添加剤「アデカシクロエイド」シリーズ(左)
と食品ロス削減に貢献するマーガリン「マーベラス」(右)

2021年

グループCSR優先課題を織り込んだ
2021-2023年度中期経営計画
『ADX 2023』スタート

2022年

カーボンニュートラルの推進に向けた
新たな組織体制を構築



株式会社 A D E K A

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号

e-mail : somu@adeka.co.jp



オフィシャルサイト



くらしのなかのADEKA

表紙デザインコンセプト

ADEKAは『Add Goodness』をコーポレートスローガンに、「素材」(価値ある素材)の提供を通じて豊かなくらしへ貢献しています。表紙では、私たちの扱う素材を身のまわりの様々なところにプラスすることで“くらしをより良く”している様子を、コーポレートカラーの積み木に見立てて表現しました。

